

令和8年度（2026年度） くまもと新時代ゼミ 実施要領

1 目的

今後の“くまもと”を担う、県、市町村、民間企業等の中堅職員（社員）を対象に、「これまでのやり方から“飛び出す”」、「所属の枠から“飛び出す”」、「現場に“飛び出す”」人材を育成する。

また、異なる背景を持つ者同士が“くまもと”に対して真摯に向き合い、対話を重ね、交流を行うことにより、新たな視点や思考の獲得につなげ、受講者が各組織の核として活躍し、組織が活性化することで「くまもと新時代」の実現を目指す。

2 対象者・募集人数

(1) 熊本県職員

入庁5年目以降、年齢45歳以下、主任主事・技師～主幹まで(監督職を除く)の職員

(2) 県内市町村職員

入庁5年目以降、年齢45歳以下の職員

(3) 民間企業等（上記以外）

社会人経験5年以上、年齢45歳以下の者

(1)～(3)の合計で40名程度

3 実施方法

集合形式

※ 座学形式の「研修」と班単位で実施する「研究」の両方を実施

「研究」では、「30年後のくまもとを考える」をテーマに、班内での対話を通して検討を行う（概ね全体の半分程度は研究を予定）

4 日程及び内容

令和8年（2026年）7月～令和9年（2027年）1月

全7回開催。なお、全日程での受講を必須とする。

※ 詳細及び講師プロフィールは別添のとおり

5 場所

県庁新館2階 職員研修室

《実施内容》

第1回	<p>日 時：令和8年7月10日（金）9時～17時</p> <p>テーマ：くまもと新時代を考える</p> <p>講 師：熊本県知事 木村 敬〈ゼミ長〉 令和7年度ゼミ生 一般社団法人フミダス 代表理事 濱本 伸司</p>
第2回	<p>日 時：令和8年8月7日（金）9時～17時</p> <p>テーマ：ありたい姿を考える</p> <p>講 師：NPO 法人テラ・ルネッサンス 理事 鬼丸 昌也 一般社団法人フミダス 代表理事 濱本 伸司</p>
第3回	<p>日 時：令和8年9月4日（金）9時～17時</p> <p>テーマ：取組みを考える</p> <p>講 師：一般社団法人フミダス 代表理事 濱本 伸司 人事課</p>
第4回	<p>日 時：令和8年10月2日（金）9時～17時</p> <p>テーマ：現場を知り、発想力を磨く① / 中間報告</p> <p>講 師：有限会社宮川洋蘭 代表取締役 宮川 将人 株式会社日添 取締役 土屋 望生 一般社団法人フミダス 代表理事 濱本 伸司</p>
第5回	<p>日 時：令和8年10月30日（金）9時～17時</p> <p>テーマ：現場を知り、発想力を磨く②</p> <p>講 師：株式会社かつあき 代表取締役 佐藤 かつあき 熊本バスケットボール株式会社 代表取締役社長 湯之上 聡 一般社団法人フミダス 代表理事 濱本 伸司</p>
第6回	<p>日 時：令和8年12月4日（金）9時～17時</p> <p>テーマ：共創・連携を考える</p> <p>講 師：熊本大学 教授・副学長・共創学環長 金岡 省吾 一般社団法人フミダス 代表理事 濱本 伸司</p>
第7回	<p>日 時：令和9年1月22日（金）11時～17時</p> <p>テーマ：最終報告</p> <p>講 師：熊本県知事 木村 敬〈ゼミ長〉 一般社団法人フミダス 代表理事 濱本 伸司</p>

※ 研究状況によって、必要に応じて班毎に上記以外の協議や現地視察等を実施

《講師プロフィール》

	<p>一般社団法人フミダス 代表理事 濱本 伸司</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学卒業後、TV番組のディレクターや首長秘書、事業再生などの仕事を経て2012年に一般社団法人フミダスを設立。being（ありたい姿）から始める課題解決思考・キャリア思考の講義・研修を、九州内外の大学・高校を始め、企業などで実施。また県内自治体や経済団体などと産学官連携による「地域が挑戦に踏み出すエコシステムづくり」などに取り組んでいる。
	<p>NPO法人テラ・ルネッサンス 理事 鬼丸 昌也</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学在学中の2001年にカンボジアを訪れ地雷問題に触れ、「まずは伝えること」からと、講演活動を始め、在学中に「テラ・ルネッサンス」を設立。地雷問題や子供兵の社会復帰支援を行うため、学校、企業、行政等で年間100回を超える講演活動を実施。2022年、約120のNGOが加盟する、NPO法人国際協力NGOセンター（JANIC）の理事長に就任。
	<p>有限会社宮川洋蘭 代表取締役 宮川 将人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇城市戸馳島生まれ。大学卒業後、オランダでの研修後アメリカに渡り、2年間の花修行。2004年に帰島し宮川洋蘭に入社。過労で倒れ生死をさまよった経験から「人や地域の役に立つ生き方がしたい」と考え方や仕事観が大きく変わり、雇用と売り上げが倍増。「楽天ショップオブザイヤー」さらに「日本でいちばん大切にしたい会社」に選ばれる。
	<p>株式会社日添 取締役 土屋 望生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五木村生まれ。大学時代、一般社団法人フミダスの活動に参画し、五木村のために働きたいと思うように。2015年、修業先としてNPO法人ETIC.に就職。3年半で100の地域活性の現場に携わる。2018年に五木村で（株）日添を設立。その後、五木村内や事業者を盛り上げるための企画立案、地域事業者への人材マッチング等を担当。
	<p>株式会社かつあき 代表取締役 佐藤 かつあき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐世保市出身。福岡や東京でデザインを学び、2010年に妻の故郷である熊本に移住。熊本地震直後に、被災地支援のため地元のクリエイターと共に「BRIDGE KUMAMOTO」を設立し代表に就任。被災した家屋のブルーシートを利活用したブルーシードバッグなどを手掛けた。2018年には、（株）かつあきを設立し、県内外の企業のブランディング等を支援。
	<p>熊本バスケットボール株式会社 代表取締役社長 湯之上 聡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市生まれ。資金も人材も経営ノウハウもない中、2008年に仲間と共に熊本にプロバスケットボールチームをつくる活動を開始。2012年に熊本バスケットボール（株）を設立、代表取締役に就任し「熊本ヴォルターズ」を発足。2020年に退任し、早稲田大学大学院や現場での学びを経て、2024年に復帰。直近シーズンは過去最高売上で2期連続黒字決算。
	<p>熊本大学 教授・副学長・共創学環長 金岡 省吾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門はランドスケープ科学。都銀シンクタンクにて国土・地域、地域経済領域の学際的研究業務にて多くの地域づくりに携わる。その後、大学（富山2006～、熊本2021～）にて地域課題をビジネスで解決する地域再生人材育成塾を県内外11か所で展開するとともに、塾と連関する越境学習、高校の総探事業を支援。本年度より就職支援部門長を兼任。